

No.	項目	関連資料	質問内容	回答内容	回答日
9	管路施設耐震設計（管更生工法）レベル1・2の工法区分について	委託設計書 P.30-31、115、205 （第14号明細書、第66号単価表、第14号委託単価表）	管更生工法の耐震設計のうち、レベル1及びレベル2地震動の工法区分が「円形管(800mm未満)」となっています。 一方、数量の5,000mは管更生工法（内径800mm以上）の5,000mと一致しており、工法区分と数量の整合が取れていないと思われます。 工法区分は「円形管(800mm以上)」が正しいのでしょうか。	管更生工法の耐震設計（レベル1及びレベル2地震動）における工法区分については、要求水準を満足するために本市が想定する業務条件を踏まえ設定したものです。 本業務は、通常の仕様発注とは異なり、性能発注を原則とした総価契約単価合意方式を採用しており、設計書に記載する数量は業務規模等を示すための概算数量となります。そのため、受託者からの技術提案等を踏まえ、本市と受託者との協議により実施内容及び各工種の単価等を決定することとしており、設計書に記載する各工種の数量は相互に対応関係を有するものではありません。 したがって、「耐震設計（管更生工法）レベル1及びレベル2」の数量5,000mと「管更生工法（内径800mm以上）」の数量5,000mが同一であることをもって、両工種が対応することを示すものではなく、工法区分の誤りを意味するものでもありません。 以上のことから、設計図書の記載における誤りを示すものでないため、修正の予定はありません。 なお、入札に当たっては、技術提案及び要求水準書に定める業務内容を履行するために必要となる人員配置、実施体制その他必要な費用を適切に見込み、入札価格に反映してください。	10月6日
10	更新計画案作成業務の対象面積・延長について	委託設計書 P.32-34、120-136、209-240 （第15号明細書、第71～87号単価表ほか）	同じ更新計画案作成業務の中で、対象面積・延長が施設情報の収集整理は5,509ha、SM実施方針・照査は1,875ha、点検調査計画策定は500km（500ha＝142.5km換算で約1,754ha相当）、修繕・改築計画は条件240km（明細書数量は計103km）となっており、整合が取れていないと思われます。いずれの値が正しいのでしょうか。	更新計画案作成業務における各工種の数量については、要求水準を満足するために本市が想定する業務内容及び業務規模等を踏まえ設定した概算数量です。 本業務は、通常の仕様発注とは異なり、性能発注を原則とした総価契約単価合意方式を採用しており、設計書に記載する数量は業務規模等を示すための概算数量となります。そのため、受託者からの技術提案等を踏まえ、本市と受託者との協議により実施内容及び各工種の単価等を決定することとしており、設計書に記載する各工種の数量は相互に対応関係を有するものではありません。 したがって、施設情報の収集整理における対象面積5,509ha、ストックマネジメント実施方針・照査における対象面積1,875ha、点検調査計画策定における対象延長500km並びに修繕・改築計画に係る対象延長等については、それぞれの業務内容及び業務規模を踏まえて設定した概算数量であり、各数量が相互に一致又は対応することを意図したものではありません。 以上のことから、ご質問の各数量はいずれも設計図書のとおりであり、各業務の対象範囲や業務内容に応じて設定した概算数量であるため、ご指摘の各数量の差異をもって設計図書の誤りを示すものではないことから、修正の予定はありません。 なお、入札に当たっては、技術提案及び要求水準書に定める業務内容を履行するために必要となる人員配置、実施体制その他必要な費用を適切に見込み、入札価格に反映してください。	10月6日

11	ストックマネジメント計画の策定回数について	委託設計書 P.32-34、120、137 (第15号明細書、第71・88号単価表)	報告書作成工（SM実施方針）が2式、設計協議が初回・最終4回、中間6回と、計画2回分で計上されています。 一方、SM実施方針・照査（1,875ha）や施設情報の収集整理（10年当り）は1回分の数量となっており、整合が取れていないと思われます。 計画の策定は1回、2回のどちらが正しいでしょうか。	各工種の数量については、要求水準を満足するために本市が想定する業務内容及び業務規模等を踏まえ設定した概算数量です。 本業務は、通常の仕様発注とは異なり、性能発注を原則とした総価契約単価合意方式を採用しており、設計書に記載する数量は業務規模等を示すための概算数量となります。そのため、受託者からの技術提案等を踏まえ、本市と受託者との協議により実施内容及び各工種の単価等を決定することとしており、設計書に記載する各工種の数量は相互に対応関係を有するものではありません。 したがって、「報告書作成工（SM実施方針）」の数量2式及び「設計協議」の回数についても、「SM実施方針・照査」や「施設情報の収集・整理」の数量と対応するものではなく、計画を2回策定することを示すものではありません。 要求水準としては、「事業者は、本委託で実施する点検・調査の結果等を踏まえて、現行のストックマネジメント計画の中間見直し及び次期ストックマネジメント計画に資する概ね10年程度の施工年次計画を策定すること。」としており、更新計画案作成業務においては、1回の計画策定及び1回の中間見直しを前提としています。 以上のことから、ご質問の各数量はいずれも設計図書のとおりであり、各業務の対象範囲や業務内容に応じて設定した概算数量であるため、ご指摘の各数量の差異をもって設計図書の誤りを示すものではないことから、修正の予定はありません。 なお、入札に当たっては、技術提案及び要求水準書に定める業務内容を履行するために必要となる人員配置、実施体制その他必要な費用を適切に見込み、入札価格に反映してください。	10月6日
12	SM実施方針の報告書作成の参照頁について	委託設計書 P.137、241 (第88号単価表、第33号委託単価表)	報告書作成工（管路施設ストックマネジメント実施方針）の参照が、下水標準第3巻P.305（修繕・改築計画の歩掛）となっています。 SM実施方針の他の項目はP.303を参照しており、整合が取れていないと思われます。 参照頁はP.303が正しいのではないのでしょうか。	報告書作成工（管路施設ストックマネジメント実施方針）の参照頁については、要求水準を満足するために本市が想定する業務内容及び業務規模等を踏まえ設定したものです。 本業務は、通常の仕様発注とは異なり、性能発注を原則とした総価契約単価合意方式を採用しており、設計書に記載する工種、数量及び参考歩掛については、要求水準を満足するために本市が想定する業務内容等を踏まえて設定した参考値となります。 ご質問の報告書作成工（管路施設ストックマネジメント実施方針）については、当該業務内容及び条件を踏まえ、下水道用設計標準歩掛表第3巻P.305 表-VII-5を基に設定しており、報告書作成工の参照頁はP.305で間違いありません。 したがって、他の工種においてP.303を参照していることをもって、本工種についてもP.303を参照すべきことを示すものではなく、ご指摘の内容は設計図書の誤りを示すものではありません。 以上のことから、設計図書の記載は正しく、修正の予定はありません。 なお、入札に当たっては、技術提案及び要求水準書に定める業務内容を履行するために必要となる人員配置、実施体制その他必要な費用を適切に見込み、入札価格に反映してください。	10月6日

13	測量業務の数量について	委託設計書 P30、36-41 (第14号明細書、第1～6号単価表)	測量業務は、縦断測量・横断測量等が各0.5km、現地測量が0.005km² (0.5km×幅10m) で計上されています。 一方、開削工法の詳細設計は1,500mであり、ほかに取付管・公共ますの布設替設計もあるため、整合が取れていないと思われる。 測量数量は開削工法の設計延長に合わせるのが正しいのではないのでしょうか。	測量業務における各工種の数量については、要求水準を満足するために本市が想定する業務内容及び業務規模等を踏まえ設定した概算数量です。 本業務は、通常の仕様発注とは異なり、性能発注を原則とした総価契約単価合意方式を採用しており、設計書に記載する数量は業務規模等を示すための概算数量となります。そのため、受託者からの技術提案等を踏まえ、本市と受託者との協議により実施内容及び各工種の単価等を決定することとしており、設計書に記載する各工種の数量は相互に対応関係を有するものではありません。 したがって、縦断測量、横断測量及び現地測量の数量についても、開削工法の詳細設計延長1,500m並びに取付管及び公共ますの布設替設計数量と対応するものではなく、各業務の内容及び業務規模を踏まえて設定した概算数量です。 このため、測量における数量を開削工法の設計延長に合わせることを意図したものではなく、各数量はいずれも設計図書のとおりです。 以上のことから、ご指摘の数量の差異をもって設計図書の誤りを示すものではないため、修正の予定はありません。 なお、入札に当たっては、技術提案及び要求水準書に定める業務内容を履行するために必要となる人員配置、実施体制その他必要な費用を適切に見込み、入札価格に反映してください。	10月6日
----	-------------	---------------------------------------	--	---	-------